



アンコンシヤス・バイアスと マイクロアグレッション

近年、人権問題を扱うなかで、「アンコンシヤス・バイアス」や「マイクロアグレッション」という言葉がよく取り上げられるようになりました。

「アンコンシヤス・バイアス」は、その人のそれまでの生活や文化の中で、無意識のうちに身につけてきた思い込みや偏見のことを指します。そのアンコンシヤス・バイアスによって取られた行動や行為が、意図せず相手を傷つけ、本人にはその自覚がない、というのが「マイクロアグレッション（小さな攻撃）」です。この二つの言葉に共通するのは、いずれも本人は「無意識」であることです。



具体的には、ある人が「子どもがいるのに、女性でありながら」仕事を毎日頑張っていて偉いね」と発言したとします。発言をした本人は、相手を尊敬してほめたつもりでも、受けとった側は戸惑う場合があります。

これは、発言者に「育児は女性、仕事は男性がするもの」という無意識の思い込みや偏見があり、結果的に、自然にそのような言葉となつて現れたのではないのでしょうか。

では、アンコンシヤス・バイアスをなくしたり、マイクロアグレッションとならないようにしたりするには、どのようにすればよいのでしょうか。

これらは、誰もが持つています。「マイクロアグレッションをしてはいけない」と身構えると、

何も言えなくなってしまうこともあるでしょう。ですから、日常生活の中で身構える必要はありません。

「してはいけない」と過剰に意識するのではなく、「自分はマイクロアグレッションをしているかもしれない」と自覚することが大切です。また、相手の立場などを考えることも重要です。そうすることで、「次回からは気をつけよう」という気持ちが生まれます。

そうして、アンコンシヤス・バイアスやマイクロアグレッションを少しずつ減らしていくのです。こうした一人ひとりの努力が、やがて社会全体を変えていき、あらゆる偏見をなくしていくことになると思います。

例えば前述の発言のように、同じ発言内容であっても、その受け止め方は、発言者と受け手の関係性により変わります。それをほめ言葉ととらえる人もいれば、そう思わない人もいます。発言者だけの問題ではなく、受け手側も、「ひとは誰でもマイクロアグレッションをする可能性がある」ということを理解して、相手と接することで、人間関係はもっと円滑になると思います。

【お知らせ】

○第7回ふれあい人権講座

「刑を終えた人の人権」

■日時 10月8日(火) 午後6時

■会場 人権センター

■講師 糸田 隆さん

刑を終えた人の立ち直りを支えるために地域でできることなどを学びます。

申し込みは不要です。お誘いあわせのうえ、お越しください。

○10月の人権・行政相談所

■日時 10月11日(金)

午前9時～正午

■会場 子育て支援センター

人権や行政の仕事に関する相談を人権擁護委員・行政相談員が無料でお受けします。予約は不要です。また、この日は、弁護士による「出張弁護士！なんでも相談」が午後2時から5時まで開催されます。弁護士相談をご希望の際は、前日までに予約が必要です。人権センターまで申し込みください。

